



家族も参加し盛り上がる全社をあげての社内イベントは、類まれなチームワークを生むきっかけとなっている。

社員の成長こそが 企業の成長の原動力

「モノ」から「コト」へ、時代のニーズと共に、様々な業界から生まれる価値観が成熟して久しい。

「いい人」が「いい会社」を創り、社員一人ひとりが人間として成長することで、企業も発展する——。1965年、鳥計算センターとして創業した株式会社エスピックは、IT業界の黎明期から目まぐるしい時代の進化と共に事業領域を拡大。独自の発想力で提案・開発・運用・保守まで一貫したサービスをエンドユーザーに提供し、顧客は商社や金融、官公庁など多岐にわたる。

業績が悪化していた88年当時、2代目として社長に就任した島至（現）会長は「すべての根底にある資源こそが人である」という確信に満ちた信念を持ち、社員一人ひとりの成長を導きながら結束を高め、全社一丸となって危機を乗り越えてきた経歴を持つ。当時の考え方は今に通ずる経営の礎となり、同社には「Good People Company」という企業理念が深く息づいている。社員が働きやすい環境を整え、離職率は約5%（前年度実績）と極めて低い。

一人ひとりが活き活きと 自分を表現できる会社——。

競争の社会から共生の社会へ 株式会社エスピック

同社。平均年齢は32歳と若く、新卒採用で入った社員が今は経営層に就き、事業の中核を担っている。2018年、3代目として就任した白川満貴社長も「Good People Company」に共感して入社した一人だ。

「研修でも教育でも『やらされ感』があると続かない。強制や圧力なしで自発心がくすぐられると、自ずと行動は活発化しますし、何よりもやり甲斐が生まれ、仕事の面白みが増します」

と白川社長が話すように、自主自立の企業文化が浸透している社内では、有志によるクラブ活動や委員会、WG活動が盛んだ。高い貢献度が認められるケースでは、売上と同等のインセンティブを設けている。

そして、2年に一度行われる海外への社員旅行（※）では、社員の家族も積極的に参加。毎回、独自性豊かなアイデアに満ちた企画が実施され盛況だ。社員が一丸となり喜びを追求することで一体感を高め、より強固なチームワークを業務に昇華させている。

「一つのピラミッドが大きくなると、上位にいる一部の人たちしか仕事の面白みを実感できない一面がある。しかし人には得意・不得意があり、それぞれが違う『いいところ』を持っていて、会社とし

ても様々な価値観で人を評価していく必要があります。社員の数だけ、それぞれの『専門性』がオンラインワンのマネージメントを発揮すれば、総合的なサービスが新たに生まれる。そこを目指しています」

と話す白川社長。その視点から同社の一貫したビジョンと先見性を感じ取ることができる。

※直近はコロナ禍により延期



代表取締役社長
白川 満貴



代表取締役会長
島 至

株式会社エスピック

本社 東京都墨田区両国2-10-14
両国シテイコア

☎03-5625-3820

従業員数 334名

売上高 32億3973万円

事業内容 ITソフトウェア受託開発、
パッケージ販売、アウトソーシング、
サービス等

<https://www.spic.co.jp>